

令和4年度

施設関係者評価表

社会福祉法人 博乃会

認定こども園 日吉台幼稚園

# 令和4年度 施設関係者評価表

社会福祉法人 博乃会 認定こども園 日吉台幼稚園

## 1、本園の教育・保育目標

社会福祉法人博乃会の方針である「知育・体育・徳育」の三本の柱を基に、「頭の良い子に」「心の豊かな子に」「意欲溢れる子に」バランス良く育つよう、教育・保育内容の充実を図る事を目標としている。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

今年度から、ワークブックの取り組みを始め、数字やひらがなに楽しみながら触れる機会を持つようにしていく。

また、年間を通して、様々な活動を通して、達成感を味わい、自己肯定感を高められるようにしていく。

職員間では、常に情報の共有を図り、協力体制を構築すると共に、より良い保育を築いていけるように努めていく。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
本園の教育・保育課程の編成・実施に関して、職員間の共通理解を図る。	月1回の管理職会議・合同職員会議や年4回の姉妹園との幼児会議を行う中で、年間を通して、教育・保育要領を共通理解し、保育計画の検討、見直しを行い、先の見通しを持ち、計画立てて進めていけるようにしていく。
認定こども園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	今年度も引き続き、感染症への考慮をしつつ、行事を通して、子どもたちの日々の取り組みの成果を披露出来る機会を設けていけるようにしていく。 また、戸外活動の充実を図り、自然物を通して、生き物への関心を深め、発見や驚きを感じながら感性を養えるようにしていく。
教育・保育の質の向上のために、園内外研修を充実させる。	研修計画を立て、定期的実施している。 ■心肺蘇生法、エピペン、SIDS研修 ■人権研修 ■キャリアアップ研修 ■栄養士研修
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	日々、園での子どもの様子を伝えたり、年1回の個人懇談を通して、家庭での様子を伺ったりし、子どもの成長に繋がるよう、相互理解を深めている。
職員の指導能力向上を図る。	各種研修に参加し、学んだ事を全職員で共有出来るよう、園内研修を行い、全職員が専門分野への知識の向上が出来るように努めている。
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底する。	一人一人の子どもが、安心感を持って生活出来るよう、丁寧に関わりを持つようにしていく。また、自立に向けて、成長に繋がるよう適切な対応を心掛けていくよう努めていく。

食育に関する実践を充実させる。	食への関心を深められるように、月1回の食育を実地し、給食では、旬の食材を取り入れ、季節感を味わえるように献立を工夫している。家庭に対し、献立のみではなく健康や栄養情報の知識や食事作りのアドバイスとして、希望者には人気メニューのレシピを配布している。
本園の情報を発信する。	本園の教育方針や取り組み状況を園だよりや掲示、その他のプリントで情報発信している。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行いながら、様々な行事を開催する事が出来、保護者から、子どもたちの取り組む姿を実際に観る事が出来、良かったという感想を多く頂いた。また、実地出来なかった行事は、取り組みの様子をビデオで撮影をして記録に残し、保護者には、DVDにて取り組みの様子を見てもらった。また、年間を通して、教育の資質向上に取り組み、子どもたちが意欲的に取り組む事が出来た。

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	
保護者への情報提供とより正確な要望把握	保護者との個人懇談を通して、当園の教育方針に則りつつも、子育て中の保護者が期待するところを把握し、園を取り巻く環境や日々の子どもの様子を伝える。
感染症予防対策の向上	感染症予防対策として、保育室のこまめな換気や消毒、手洗いうがいの方法を丁寧に指導し、食事や午睡時にソーシャルディスタンスを取るよう努めている。
自然災害時の危機管理体制の構築	非常時の危機管理について、子どもの引き渡し方法を含めたマニュアルを作成し定期的に職員間で確認を行う。
安全管理の向上	遊具の点検及び園舎・園庭などに危険な箇所がないか日頃から管理に努めている。(毎日、点検記録をつけて管理していく)

#### 6、学校関係者の評価

法人の方針を様々な活動の中に取り入れながら、年間を通して計画的に実施出来ている。職員各自が研修を通して、教育の資質向上に取り組み、保育の充実を図る事が出来ている。また、感染症予防対策の徹底や子どもたちへの手洗いうがいの丁寧な指導の実践が見られる。以上のように日々の保育を工夫し、取り組む姿勢が認められる為、特に指摘する事項はない。